

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	豊四季駅利便性向上要請事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	都市計画課			
施策	4-6	バリアフリーのまちづくり		主管課長	中山 貢一			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	豊四季駅利用者	意図	豊四季駅利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	平成21年度に上下線ホームへのエレベーターが整備されバリアフリー化がされている。柏市と協議しながら、鉄道会社へ橋上駅舎を含め西側からの鉄道利用について要望等の働きかけを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成14年度にはエレベーター及びエスカレーターを備えた自由通路を整備したことにより、西口から東口改札への移動が容易になった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	便利だと感じている駅利用者の割合	61.90	69.50	69	%
②	1日平均乗降人員	14,109	14,145	14,403	人	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・豊四季駅利用者数は、ほぼ横ばい状態となっている。 ・柏市は、橋上駅舎化は鉄道事業者が行うものと考えており、また、現時点での計画はないとのことであり早期の対応は困難と思われる。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		71,780	69,870	69,093			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		71,780	69,870	69,093			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	柏市との協議	③取り組みの課題	橋上駅舎化には多額の整備費用を要することから、柏市における事業優先順位は低い。
②今年度(H26)に実施した取り組み	柏市との情報交換	④今後の改善計画	柏市における第5次総合計画（平成28年度～）を踏まえ、今後検討していく。